

令和7年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

自主防犯活動支援事業

くらし文化部 安心安全課



あいさつ運動・ごみ拾い運動に取り組んでいます。
あたたかく美しいまちをつくりましょう！

1 事業概要

◆事業名

自主防犯活動支援事業

◆事業開始の背景

2000年初めの全国的な犯罪増加を受けて、警察と協力しながら、防犯ボランティア団体設立を働きかけ、活動支援を行ってきた。

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

課長 1人

課長補佐 1人

交通防犯係長 1人

係員 3人

（うち、担当 2人（主担当1人、副担当1人）

（うち、会計年度任用職員 1人）

3 事業の目的①

◆事業のゴール（市としてどうなるのか）

最終アウトカム

防犯意識が高く犯罪のないまちになる

3 事業の目的②

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市民 60,000人

◆対象者がどうなることを目指すか

中間アウトカム

刑法犯認知件数の減少

3 事業の目的③

◆どんな活動を行うのか

地域住民の自主防犯活動支援のため、講習会の開催、支援資機材の貸与、団体同士の連携の機会を提供する会議の開催等を行う。

4 成果指標

- ◆成果指標（対象者の変化をはかることができる指標）

刑法犯認知件数

- ◆指標の設定根拠

目標数値は、R 5を基準に毎年5%の件数減少を目標としている。

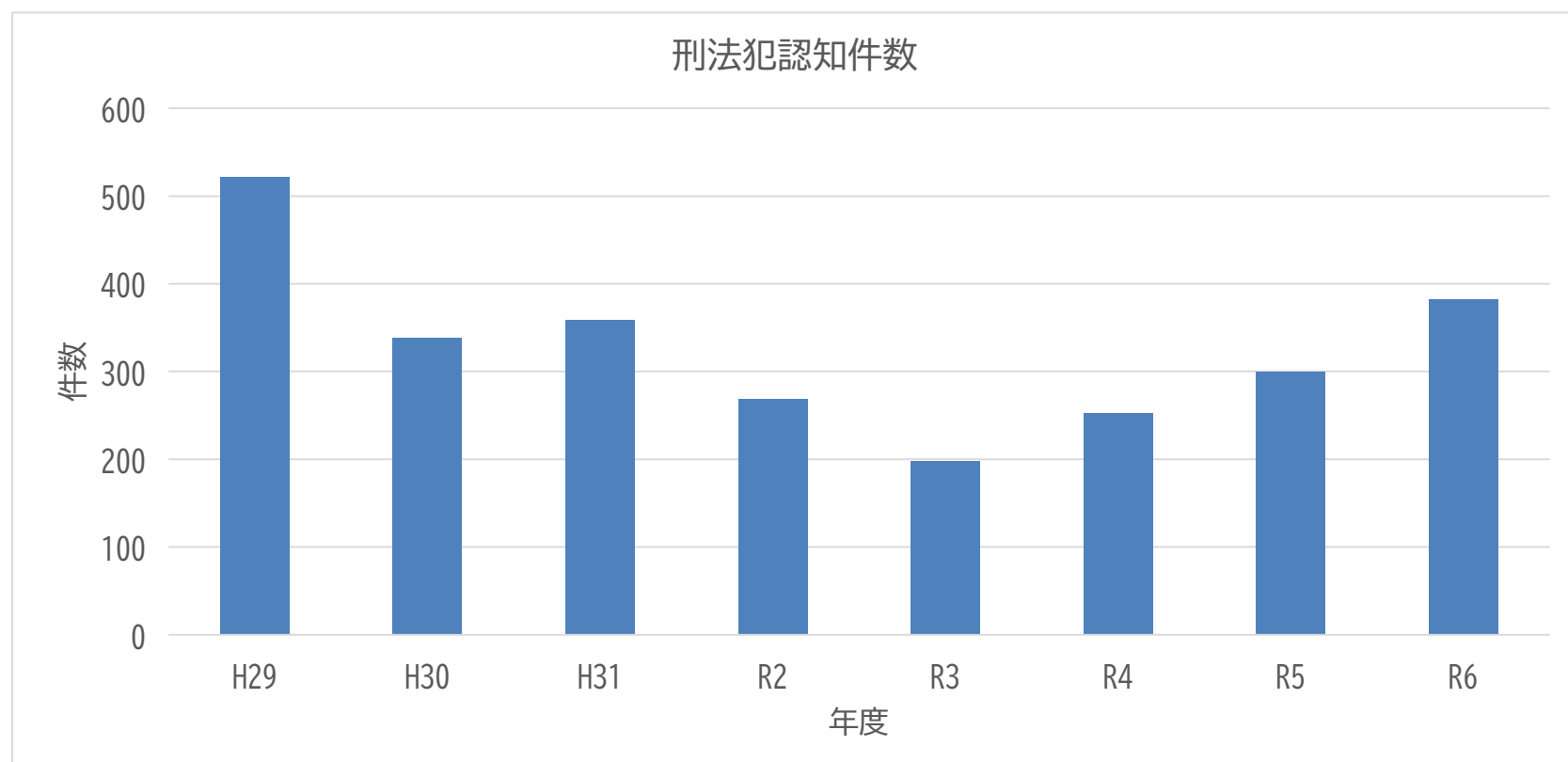
- ◆成果推移と成果目標

（単位：件）

R 3年度 実績	R 5年度 実績	R 6年度 実績	R 8年度	R 10年度
1 9 8	2 9 9	3 8 2	2 5 4	2 2 4

◆刑法犯認知件数 実績推移

H29 年度	H30 年度	H31 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
521	338	358	269	198	252	299	382



5 事業のふりかえり

◆事業開始からの主要なエピソード

2000年初めの全国的な犯罪増加を受けて、警察と協力しながら、防犯ボランティア団体の設立を働きかけ、活動支援を行ってきた。また、平成26年からは自治会連合会等が設置する防犯カメラの設置補助を行っている。

◆令和6年度の活動エピソード

犯罪手口は多様化、複雑化していることから、警察等と連携し、防犯啓発品等を用いた啓発活動を進めてきた。

一方で、自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化により団体数が減少しました。このようなことから、初めて登録のある防犯ボランティア団体に現状を調査し活動状況を確認した。引き続き、コミュニケーションを図りつつ、団体が継続活動ができるように情報や資材の提供を行っていく。

R6時点長久手町内における自主防犯ボランティア等活動状況一覧

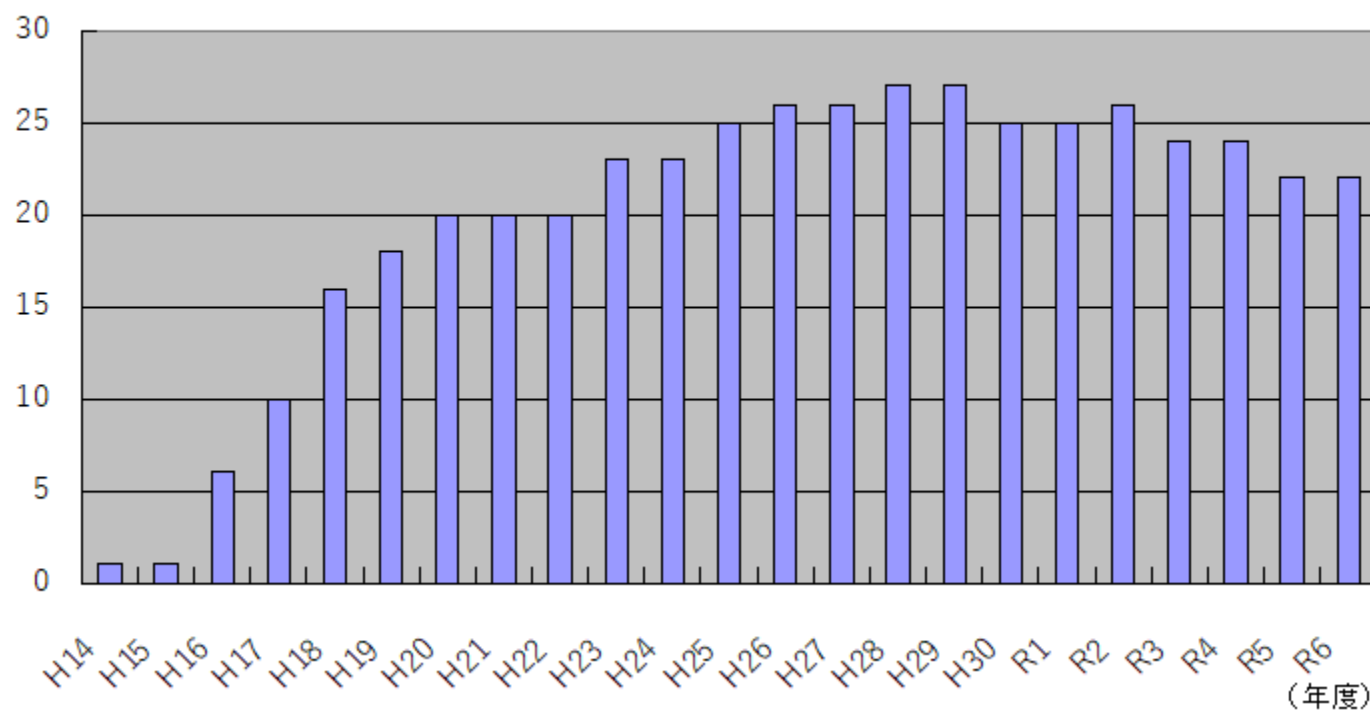
校区	対象地区	名 称	活動状況等	発足時期等	廃止時期
1 長久手小	桃の木地区内	桃の木ボランティアクラブ防犯パトロール	9日毎に実施(昼夜)	H16	
	県営長久手第二住宅地内	県営長久手第二住宅自治会防犯パトロール	月2回住宅・公園周辺、道路パトロール 16:00～17:00、19:30～21:00	H23	R6
2 西小	西小学校区内	西小学校校区防犯コミュニティ	※H17愛知県「安全なまちづくり計画作成支援事業」指定 月・水・金曜14:50頃 低学年下校時 水曜19:30～20:30	H18	
3 東小	上郷地区(北熊)	東小安全パトロール「ちょパト隊」北熊支部	低学年の下校時見守り(毎日の人もあり)	H18	R4
	上郷地区(前熊)	東小安全パトロール「ちょパト隊」前熊支部	散歩を登下校時間帯に行うなど日常生活内で見守り	H18	
	上郷地区(大草)	東小安全パトロール「ちょパト隊」大草支部	登下校時見守り	H18	R5
	三ヶ峯地区	三ヶ峯元気会	毎週月曜15:15～16:00 A・Bルート	H19	R3
4 北小	上川原地区	上川原防犯パトロール隊	第1金曜・第3木曜20:00～21:00	H16	R6
	段ノ上地区	段の上自治会防犯パトロール	第2火曜・第4金曜15:00～16:00	H16	R5
	段の上地区②	段の上自主防犯パトロール	児童・生徒の登下校時の見守り 地区内パトロール	R4	
	原邸・野田農・西浦・下鴨田他	長六自治会防犯パトロール	毎月16日①14:00～、②20:00～ ※夏休みの土曜22:00～	H16	
	下島・落合・隅田・高山他	スクールガードボランティア岩七	登下校時間帯	H18	
	草掛・西原・池田他 (長一地区)	草掛防犯ガード隊	毎日登下校時間帯の児童見守り、 水・金20:00～21:00夜間パトロール ※青色回転灯付車両による防犯パトロールを準備中	H23	
	北小学校区内	長久手北小学校区のこどもを見守る会	登下校時見守り	R2	

R6時点長久手町内における自主防犯ボランティア等活動状況一覧

	校区	対象地区	名 称	活動状況等	発足時期等	廃止時期
9	南小	南小校区内	長久手南小学校区防犯パトロール連合	※H17警察庁「地域安全安心ステーションモデル事業」指定 (～H18まで)	H17	
		長配地区内	さつきヶ丘グループ	月～土20:20～21:20	H17	H22
10		長配公園周辺	さわやかレディースグループ	毎週火曜15:00～16:00 第2金曜20:00～21:00	H17	
11		喜婦嶺地下道	ひまわりグループ	毎週月曜15:00～16:00	H17	R7
		城屋敷地区内	城屋敷グループ	第1火曜15:30～16:30 第3火曜19:00～20:00	H16	H30
12		南小校区内	長七青年会グループ	随時18:30～20:00 車両による流し街宣	H14	
13		長配地内周辺	長配クラブ	火・水・金1～2年生 下校時の見守り、ゼロの日朝 番、春・夏休みは水・金17時～巡回パトロール	H20	
14		長配二丁目周辺	おひさまクラブ	毎週水曜 交差点で下校時の児童見守り、夜間パト ロール	H23	
15		山野田交差点・喜婦嶺交差 点	山喜クラブ	交差点で登校時の児童見守り	H25	
16		武蔵塚地内	武蔵塚自治会防犯パトロール	月1回第4水曜日19:00～20:00徒歩警ら	H19	
17	市が洞小	氏神前、戸田谷、東狭間	防犯ウォークセセラギ	週1回、昼間30分程度徒歩によるパトロール	H28	
18		山野田	紫雲伝長久手離宮	防犯パトロール活動	R6	
		市が洞小学校区	市が洞小学校区安全コミュニティ	登校時中心の児童見守り	H20	H30
19		市ヶ洞地内(丘の上地区)	丘の上自治会防犯パトロール	月1回程度徒歩パトロール	H25	
20		市が洞三丁目2219	ほたるの丘自治会防犯パトロール	月1回程度徒歩パトロール	H26	
21		市が洞小学校区	市が洞小学校区まちづくり協議会 防犯パトロール隊	校区内防犯パトロール	R6	
22	市内全域	長久手市内	シルバー防犯パトロール	小学校の登下校時の児童見守り	H18	
		長久手市内 (一部地域を除く)	長久手中日防犯ネットワーク	有巴回廊(付き車両による防犯パトロール) 時間帯は早朝、午後、夕方など各店によって異な る	H22	R3

(団体)

市内登録防犯ボランティア団体数の推移



6 課題分析①

◆目標達成状況（進捗状況は順調か）

刑法犯数は、近年、増加傾向となっているが、防犯活動としては啓発が最も重要なツールであるため、引き続き、警察や地域と連携しながら啓発等の取組が必要と考えている。

◆目標達成のために対処が必要な要因

改善ポイント

市民等対象の行動変容を促す啓発等の検討を行い、効果的なものとなるように取り組みたいと考えている。

6 課題分析

◆事業の方向性

拡充 維持 縮小/廃止
  

事業の方向性	コストの方向性
	

◆中長期の計画（改善ポイントを踏まえ具体的に記入）

高齢化が進む自主防犯ボランティア団体が、継続して活動できるよう、担い手の確保につながる支援を行う。

7 おわりに

◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

特になし

令和7年度外部評価 質問・資料請求【自主防犯活動支援事業】

質問（外部評価実施者）	回答（担当課）
長久手市の刑法犯罪の内訳を知りたい。	令和6年中の市内で発生した主な犯罪内訳は、侵入盗19件、自動車盗4件、オートバイ盗3件、自転車盗79件、部品狙い4件、車上狙い21件、特殊詐欺7件でした。
長久手市に登録している防犯ボランティアの団体の数、団体名、具体的な活動内容の一覧（事業開始から令和6年度まで）がほしい。	令和6年度現在、22の防犯ボランティア団体が活動しています。 説明資料10～12頁に追記しました。
市は防犯ボランティア団体にどのような活動を求めているのか知りたい。	「安心・安全なまちづくり」を推進するため、地域における防犯意識の向上や犯罪が発生しにくい環境づくりにつながる活動を求めています。
市が直営で行っている青パトロールカーの見回りの頻度や時間帯を知りたい。また、どのような職員が行っているのか。	週に4回（月・火・木・金）実施しており、時間帯は10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00に実施しています。安心安全課会計年度任用職員（警察0B）1名が行っており、上記3つの時間帯のうち、いずれか1つの時間帯を安心安全課職員も同乗して行っています。

市も直営で青パトロールカーの見回りをしているのであれば、団体の青パトロールカーの見回りは必要か。活動指標を青パトロールカー貸出回数とした意図を知りたい。	地域のみなさんが、青色回転灯付きパトロールカーで防犯パトロールを実施することは、「自分たちのまちは自分たちで守る」という、地域の防犯意識の向上や犯罪が発生しにくい環境づくりにつながる活動と考えられ、「自主防犯活動支援事業」の指標になり得ると考えます。
大事業「防犯事業」の中で、この中事業「自主防犯活動支援事業」が、防犯のどの部門をターゲットとしているのか確認したい。	地域住民の自主防犯活動の支援をターゲットにしています。講習会の開催、活動支援資機材の貸与、団体同士の機会を提供する会議の開催や、自治会連合会等が地域の犯罪抑止のため防犯カメラを設置するものに対して設置費用等を補助することで犯罪予防効果を高めています。
Ⅱ活動状況で自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化により団体数が減少したとあるが、Ⅲ事業の成果・課題分析では、今後の方向性等にその点を生かした項目がない。団体の活動を活発にするための方策を考えることが優先と考えるが、担当課の考えを聞きたい。	市民等対象の行動変容を促す啓発等を実施することで防犯に興味を持っていただき、自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化を抑え、団体活動の活発化になることを考えています。

犯罪のタイプごとに原因と結果があるが、担当課はそれぞれ分析しているのか。また、どの部分にどの中事業を充てているのかを知りたい。	犯罪タイプごとに、原因と結果の分析をしているわけではありませんが、警察との情報交換により、犯罪発生の傾向の把握や対策等に努めています。犯罪種別ごとに充てているのではなく、自治会等の防犯活動や防犯ボランティア団体の活動の支援に充てています。
活動指標を「防犯ボランティア団体数」ではなく、防犯ボランティア団体がどのような活動をしたのかという活動数を指標にすべきと考えるが、担当課の考えを聞きたい。	地域の防犯力及び防犯意識向上の目安として、防犯ボランティア団体数を活動指標としています。

令和7年度外部評価 事前質問票【自主防犯活動支援事業】

質問（外部評価実施者）	回答（担当課）
講習会の開催により，自主防犯ボランティア団体活動の活発化や団体数の増加を目指していると受け止めましたが，市のwebサイト「防犯ボランティア」のページを拝見するに，過去（最新で2020年開催）の防犯ボランティア養成アカデミー情報しか掲載されていないように見受けられます。	コロナ禍以前では左記の取組を行っていましたが、近年では、地域の防犯活動として、複数の地域が主体的に防犯に取り組まれており、地域特性を踏まえた防犯研修会の自主企画、地域の役員等が参加する見回り活動など、防犯力を高める取組が進んでいます。市は、この取組に伴走し、積極的な支援を行っていきたいと考えています。また、市ホームページでの取組状況の掲載についても滞っていましたので、今後、同ページなどで取組を周知していきたいと考えています。
「ジョグパト」は個人で行える防犯パトロールであり，防犯意識の高さを窺えるかと思いましたが，この実績はいかがでしょうか？犬の散歩時等に多くの方がこのベストを着ていると，犯罪者も躊躇しそうです。先日，学生とはなみずき通周辺をフィールドワークした際に，「不審者警戒中」のプレートを貼ってある家が非常に多く，驚きました。	ジョグパトの登録者数は、令和7年7月22日時点で318人となっています。登録時に確認している活動状況（予定）については、早朝、日中、夜、平日、休日の幅広い時間帯での活動をはじめ、地域についても幅広くご協力いただいています。 「不審者警戒中」のプレートについては、令和6年度に5年ぶりに配布し、多くの市民の方が貼っていただき効果があったものと考えています。

活動指標を「防犯ボランティア団体数」ではなく、その団体がどのような活動したかという活動数を指標にすべきだとしてご提案させていただきましたが、その回答が「防犯ボランティア団体数を活動指標としています」という「ゼロ回答」であったことは大変残念な気持ちです。なぜ、団体という箱の数にこだわり、その活動内容という箱の中身を指標にできないのかその理由をお聞かせください。箱より中身を大切にする姿勢は多くの市民が行政改革として期待するポイントだと思います。	この活動指標は、本市第6次総合計画にかかる後期アクションプランの指標をもとに、同じものとしています。また、成果指標を実現する、個々の事務事業の具体的な数値が出せる（持ち合わせている定点観測ができる統計データのうち）最適なアウトプットとして、地域の防犯力及び防犯意識向上の目安となることから、アクションプランの作成時に当該活動指標を設定しました。また、防犯活動の中身について、本事業は自主的なボランティアとして、時間や労力などを割いていただくものであり、まずはご尽力いただいていることが重要であると考えています。
防犯ボランティア団体数について、目標値が22から増えないのは、何故？	自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化などが進むなか、消極的かもしれないが、現状を維持していくことが重要と考えたためです。
防犯ボランティア団体の活動内容を具体的に提示してほしい。	お手数をおかけしますが、先にお示しをした団体一覧のなかに主な活動内容を列記してありますので、そちらをご確認ください。

今の防犯ボランティア団体は、どのようにして、発足したのか？また、団体の夫々の活動地域を教えてください。	地域の見守りや民間企業の地域貢献などにより発足したものがあげられます。また、活動地域については、お手数をおかけしますが、先にお示しをした団体一覧をご確認ください。
何故、活動している防犯ボランティア団体に資金提供がされていないのか？団体にどのような支援をしているのか？	あくまでもボランティアの側面があるため、資金提供は行っていないませんが、資材や啓発品などを提供又は貸出などの支援を行っています。
青パト貸出月1回、市が毎日、パトロールを行っている兼ね合いが知りたい。「青パトロールカー貸出回数」の目標値が適切か疑問が残る。	市が行うパトロールは全域を対象としており、地域への貸出ではより詳細な地域でのパトロールとなることから、広域と詳細な面の両方により効果的な防犯につなげることも要素としてあげられます。 目標値としては、現在の貸出団体数が少なく、今後多くしていきたいと考えているが現実的に厳しいため、この数値としています。
支援事業なのに、予算の内訳がほぼ、監視カメラ関係費用では、目標（最終成果「防犯意識が高く犯罪のないまちになる」）との関係が理解できない。どのようなお考えで監視カメラ関係費用を計上しているのか、最終成果を踏まえて関係を教えてください。	ご指摘のとおり、予算編成と事務事業の関係を整理する必要があると考えているため、今後、目標との関係もあわせて改善していきたいと考えています。

防犯カメラは、どのような条件で設置されてきたのか、今後どのようにすれば、設置されるのか、教えてほしい。	防犯カメラは、地域が公共空間に設置したものについて、その設置費の一部を市が負担している形式となっています。
日常、防犯活動として、どのような啓発を行っているのか、具体的に、回数、動員人数、その内容、及びその結果は、どのようになったか教えてほしい。	地域の代表の方や関係機関が委員として参加する「市防犯協会役員会」を開催し、地域の防犯の状況など意見交換するとともに、その年度の防犯に関する各種活動計画を定め、この計画に基づき様々な啓発を行っています。 啓発の具体について、例えば令和6年度は別添資料(市防犯協会役員会での報告資料)をご確認ください。
該当質問とは、異にしますが、PDCAサイクルの実施状況を検証するために、先日頂いたR1の「防犯事業」(https://www.city.nagakute.lg.jp/soshiki/somubu/gyoseika/1/1/gaibuhyouka/r01/2171.html)に関して、行政改革員会の意見とその反映が解る資料を提供して下さい。	(事務局) 「(書面決議) 令和2年度第1回行政改革推進委員会」(https://www.city.nagakute.lg.jp/gyosei/shingikai_iinkai/1/2/9/soumubu/6374.html)の会議資料「資料2 令和元年度外部評価後の対応状況表」6頁及び7頁をご確認ください。

【他団体との合同事業】

○講座・講習会

月	行 事 名	対象	内 容	
4月25日(木)	青色防犯パトロール講習会	市職員	テーマ 講師	青色防犯パトロール 愛知警察署生活安全課
6月4日(火)	長久手中学校PTA防犯講習会	PTA会員	テーマ	スマートフォンやSNSを利用した犯罪についての講話、DVD上映
10月22日(火)	若草シニアの会防犯講習会	市民	テーマ	防犯の基礎知識、犯罪情勢 防犯ビデオ視聴
11月3日(日)	市が洞2丁目自治会防犯講習会	市民	テーマ	防犯の基礎知識、犯罪情勢 防犯ビデオ視聴
11月中	市内6保育園での防犯講習会	園児、保育園職員	テーマ	防犯の合い言葉「つみきおに」についての講話と、身近な危険な場所についてDVD鑑賞
11月20日(水)	地域でできる防犯対策	まちづくり協議会・長自治会連合会長、区長	テーマ	防犯の基礎知識と犯罪情勢、ソフト面でできる防犯対策
11月24日(日)	西小学校区まちづくり協議会運営会議	自治会員、まち協会員、市民	テーマ	防犯の基礎知識と犯罪情勢、グループワーク

○パトロール・キャンペーン

月	行 事 名	内 容	参加団体
4月7日(日)	古戦場まつり安心安全キャンペーン	場所 長久手古戦場公園 内容 来場者へ啓発品の配布	愛知警察署、愛知地区防犯女性クラブ長久手支部、市安心安全課【主催】
6月24日(月)	自転車盗防止キャンペーン	場所 市内高等学校 内容 自転車盗を防止するため、自転車の利用者に対してツーロックの声かけ	市内高等学校、愛知警察署、市安心安全課【主催】
8月9日(水)	一日警察官による防犯教室	場所 福祉の家 内容 一日警察官として委嘱を受けた愛知淑徳大学生による防犯教室及び防犯啓発	愛知警察署【主催】、愛知地区防犯女性クラブ長久手支部、愛知淑徳大学ボランティア団体「tASUkeai」、長久手北小防犯少年団、市安心安全課
10月2日(水)から10月9日(水)	犯罪被害者支援パネル展示	場所 福祉の家 内容 被害者の写真とともにメッセージ等をパネルにして展示	NPO法人犯罪被害当事者ネットワーク緒あしす、市安心安全課【主催】
10月	防犯啓発プレート配布	広報10月号により、防犯啓発プレートの配布	市安心安全課
12月16日	長湫地区北部自治会連合会年末合同パトロール	場所 北小学校区 内容 夜間パトロール 雨天中止	長湫地区北部自治会連合会【主催】、市安心安全課
3月12日	自転車盗対策啓発	場所 アピタ長久手店 内容 自転車盗を防止するため、自転車の利用者に対してツーロックの声かけ	愛知警察署、レディース4、市安心安全課
5月～3月	愛知地区防犯女性クラブ長久手支部防犯啓発活動	青色回転灯付きパトロールカーでの防犯広報 (月1回程度を予定)	愛知地区防犯女性クラブ長久手支部、市安心安全課

○啓発品配布

月	行 事 名	内 容	実施団体
通年	-	市発送の封筒に特殊詐欺啓発のスタンプをして市民等の防犯意識の向上を図る。	市安心安全課

【安全なまちづくり県民運動】

月	事業名	内容
4月21日～30日	春の安全なまちづくり県民運動	・市広報紙に啓発記事を掲載 ・地域安全ニュース(愛知県防犯協会連合会発行)の自治会回覧
8月1日～10日	夏の安全なまちづくり県民運動	
10月11日～20日	秋の安全なまちづくり県民運動	
12月11日～20日	年末の安全なまちづくり県民運動	

【市主催事業(通年事業)】

事業名	内容
セーフティパトロール事業	青色回転灯付きパトロールカーによるパトロールを実施する。(12/29～1/3を除く毎日、午後1時30分から午後9時30分まで)
防犯街路灯維持管理、新設	防犯街路灯の維持管理 新設については、設置基準に基づき実施する。
安心メールプラス配信事業	安心メールプラス登録者に対し、メールまたはLINEで防犯情報を配信する。
小学校区別犯罪発生状況の自治会回覧	小学校区別犯罪発生状況をとりまとめ、月1回の自治会回覧を実施する。
自主防犯団体設立支援事業	自主防犯ボランティアの発足を促し、団体の設立を支援するとともに、自主防犯ボランティア団体登録要領に基づき資材の支給等を実施する。
自主防犯団体活動支援事業	自主防犯団体の活動に対し、防犯情報の提供や啓発資材の支給等を実施する。
反射材配布事業	夜間のウォーキングや防犯パトロールを安全に実施できるよう、反射材(タスキタイプなど)の配布を実施する。
ジョギングパトロール支援事業	日頃のジョギング等の際に、地域のパトロールを行っていただく防犯ボランティアの支援を実施する。

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	88	事業名	自主防犯活動支援事業 (中事業名) 自主防犯活動支援事業		担当課		安心安全課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		2.1.13.2 自主防犯活動支援事業		
					決算書ページ		74	～ 一般	
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち					
		政策	1	住み慣れた場所で安心して暮らすことができる地域づくり					
		施策	(3)	交通安全・防犯の推進					
	その他	開始年度	-						
		終了予定年度	年度	☒ 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働可		
		根拠法令等	長久手市安心で安全なまちづくり条例						
		関連計画							
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 ☒ 市民 ☐ 事業者 ☐ 職員 ☐ その他 対象の数： 60,000人 【事業内容】 地域住民の自主防犯活動支援のため、講習会の開催、支援資機材の貸与、団体同士の連携の機会を提供する会議の開催等を行う。		【アクションプラン指標】 防犯ボランティア団体数【単年】 ...▶ 【その他の指標】 青パトロールカー貸出回数		刑法犯認知件数の減少 (成果指標名) 刑法犯認知件数		④最終成果 (大事業の将来像) 大事業共通 防犯意識が高く犯罪のないまちになる	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度		
		1	【アクションプラン指標】 防犯ボランティア団体数【単年】	団体	基準値	22	目標値	22	22	22	22	22		
					目標値	22	実績	21						
		2	【その他指標】 青パトロールカー貸出回数	回	基準値	-	目標値	12	12	24	24	24		
					目標値	-	実績	12						
		3			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		4			基準値		目標値							
					目標値		実績							
		エピソード	事業開始の背景	防犯啓発活動や愛知県警察の活動により刑法犯認知件数の減少が続いていたが、令和4年度からやや増加傾向にある。										
			各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
			R6	犯罪手口は多様化、複雑化していることから、警察等と連携し、防犯啓発品等を用いた啓発活動を進めてきた。一方で、自主防犯ボランティア団体の構成員の高齢化により団体数が減少しました。このようなことから、初めて登録のある防犯ボランティア団体に現状を調査し活動状況を確認した。引き続き、コミュニケーションを図りつつ、団体が継続活動ができるように情報や資材の提供を行っていく。				R7						
	R8						R9							

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		刑法犯認知件数		件	R3 年度		R5 年度		【現状】 R6 年度		R8 年度		R10 年度	
					198		299		382		254		224	
		成果達成状況					指標目標値の根拠							
		C	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					防犯パトロール及びキャンペーン等を行い、刑法犯認知件数を減らすことを目標としている。 目標数値は、R5を基準に毎年5%の件数減少を目標としている。						
	評価の理由、分析													
	刑法犯数は、近年、増加傾向となっているが、防犯活動としては啓発が最も重要なツールであるため、引き続き、警察や地域と連携しながら啓発等の取組が必要と考えている。													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		自主防犯ボランティア団体が継続活動できるよう情報や資材の提供を行うなど、コミュニケーションを図る。 市民等対象の行動変容を促す啓発等の検討を行い、効果的なものとなるように取り組みたいと考えている。									
		改善ポイント												
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）														
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容							見直し可能年度				
1	啓発事業	☐ 拡充 ☒ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止	市民等対象の行動変容を促す啓発等の検討を行い、効果的なものとなるように取り組みたいと考えている。											
2		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												
3		☐ 拡充 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			4,567	4,128	6,985	6,149	6,947	
		理由			特定財源	合計額	340	347	660	1,017	660
		継続した事業の実施が重要なため、費用面は現状を維持し、ソフト面での改善をしつつ、事業目的に沿って実施していきたいと考えている。				(内 国費)					
						(内 県費)	340	347	660	1,017	660
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
		積算額			一般財源		4,227	3,781	6,325	5,132	6,287
		未定			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
防犯カメラ設置費等負担金 3,564千円（3,470千円）											
消耗品費 86千円（33千円）											
食糧費 0千円（4千円）											
		防犯カメラ維持費等負担金 3,297千円（3,478千円）									